

第66号 2026. 9. 20

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町 21-5
歯科技工士会館内
発行人 狩 野 眞 澄
編集 日本歯科技工士連盟

れんめい
日本歯科技工士連盟機関紙

日本歯科技工士連盟

LINE 公式アカウント

日技連盟は政治活動の見える化を推進しています。LINE公式アカウントへの友だち登録をお願いします。

ID▶@570kynvl



奥村英世会長が三選果たす

監事には三島良之氏、中村守勝氏 ――― 2026年度評議員会

日本歯科技工士連盟(会長・奥村英世)は、6月14日(日)、歯科技工士会館において2026年度評議員会を開催した。開会に先立ち1年間の活動についてまとめた動画が上映された後、林 幹明副議長(愛知)が氏名点呼を行い、評議員定数60名のうち59名の出席を確認(後刻1名の出席を確認)。これを受け松尾章司議長(福岡)が、日本歯科技工士連盟規約第26条に基づき2026年度評議員会の開会を宣言した。

議事録署名人の選出は議長一任となり、石川功和評議員(東京)と肥川憲一郎評議員(大分)が指名され、両評議員受諾後、奥村英世会長の挨拶に移った。

その後、議長が議事に入る旨を議場に告げ、第1号議案および第2号議案が一括で上程された。

はじめに時見高志理事長が「第1号議案・2025年度活動一般報告の承認を求める件」を上程し、「2025年度の本連盟活動は、日技本会と本連盟が目指す歯科技工士と歯科技工業界の地位向上と環境改善に向け、具体的な成果と次につながる確かな橋頭堡を築いた」と総括し、令和8年度の診療報酬改定での大幅な点数の見直し、歯科技工所の公的管理番号の付与、歯科技工所の安全管理対策推進のために「経済財政運営と改革の基本方針2025」(骨太の方針2025)への対応の明記など、2025年度に行った主な渉外活動に関する報告が行われた。

次に青木 彰副会長が「第2号議案・2025年度会計収支決算の承認を求める件」を上程し、資料を基に説明を行った。また監査報告として中村守勝監事より、2025年度の会計収支決算書については伝票証憑類その他これに関する帳簿等により、役員の業務執行については2025年度活動報告書及びこれに関連する書類により監査した結果、本連盟の会計は正確かつ適正に処理されており、会務は適正妥当に執行されたものであることを認める旨の報



告が行われた。あわせて三島良之監事より監事所見が示された。

その後、質疑応答を経て採決を行った結果、第1議案、第2号議案とも賛成多数により承認された。

続いて報告事項として、奥村会長より「時局・渉外について」、時見理事長より「2026年度活動方針について」、青木副会長より「2026年度予算について」、蓑輪雅宏副会長より「第27回参議院議員通常選挙日技連盟推薦議員当落結果について」、加藤 正副会長より「第51回衆議院議員総選挙議連所属議員当落結果について」の各報告があり、関連する質疑応答が行われた。

その後、議長が執行部に「第3号議案・任期満了に伴う役員選挙の件」の上程を求め、時見理事長より、現執行部の任期満了に伴い、日本歯科技工士連盟規約及び役員選挙規程により、選挙管理委員会の選挙公示のとおり会長及び監事の選任をお願いする旨の提案がなされた。あわせて奥村会長より執行部を代表して退任の挨拶があった。

引き続き役員選挙管理委員会の高橋幹夫委員長(千葉)より役員選挙管理委員会設置以降の経過報

告が行われるとともに、泉 慶亮副委員長より選挙方法の説明があった。その後、選挙管理委員会による進行の下、会長選挙が実施された結果、奥村英世候補が当選した。監事選挙は立候補者が定数内であった。高橋委員長より、役員選挙規程第13条により会長に奥村英世候補、監事に三島良之候補、中村守勝候補を当選者と決定できる旨の報告があり、これを受け議長が採決を行った結果、いずれも当選が承認され、高橋委員長より当選証書が授与された。

奥村会長は就任所信として「混乱を招くような選挙となってしまったことをまずはお詫びする。これまでの4年間、日技の森野会長とは認識を共有しながらそれぞれ活動してきたつもりだが、齟齬もあったかもしれない。今後はさらにしっかりと協議を重ねながら、懸案事項解決に向けて尽力する覚悟である」と述べ、評議員に対し協力を要請した。三島、中村両監事からもそれぞれ決意表明が述べられた。

最後に議長より議事進行への協力御礼があり、全日程が終了した。

質疑応答要旨

《質問①》歯科技工士に関する制度推進議員連盟の設立経緯に関して、当時、多くの役員が活動したとの記録があるが、会長挨拶の中では京都府歯科技工士連盟の活動が特筆されているように読める。その妥当性について問う。また、歯科技工士に適正な評価が適切に届く仕組みの構築について、前執行部の評価に対する表現が適切ではないのではないか。【広島県・松井評議員】

《回答①》当時、歯科界が民主党寄りに動いていたが、京都府技連は自民党支援で活動していた。そのような中、今の議連顧問である伊吹文明顧問が当時の日技連盟役員に対し、長年の懸案である歯科技工士の問題解決のため議連を立ち上げてはというお話があったと聞いている。京都府歯科技工士連盟の手柄とかという話ではない。また、歯科技工士に適正な評価が適切に届く仕組みの構築については、今期の連盟役員の勉強会の資料として提出したものであり、中身については侃々諤々議論されており、断定的な資料ではないことを申し上げる。【奥村会長】

《質問②》歯科技工所への公的番号付与に関し、日技連盟が当初考えていたものと運用面で乖離があると聞いているが、具体的には何を指すのか。【兵庫県・宅見評議員】

《回答②》本連盟が考えていたのは、開設無届と廃止無届を確実に捉えるため、公的番号を配付するのではなく、開設歯科技工所の開設者、責任者が足を運んで公的番号を受領する仕組みを作りたかった。そこが叶わなかった点、もう1点は、公的番号を歯科技工指示書にのみ記載することが決められたこと。せめて歯科技工録にも記載し、トレーサビリティを確保したかった。【奥村会長】

《質問③》歯科技工士の人材確保に関して、就学支援策を強化してほしい。【兵庫県・宅見評議員】

《回答③》日技連盟も成功事例を日技本会とともに啓発し、有効な手立てを周知していきたい。【奥村会長】

2026年度評議員会 会長挨拶

日本歯科技工士連盟会長 奥村英世



2026年度日本歯科技工士連盟評議員会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本歯科技工士連盟は国民への良質な歯科医療の供給を前提とし、歯科技工士の職責を全うするに必要な共益（共同の利益：会員に共通する利益）の具現化を旗揚げ、歯科技工士の職業が成立する、成立し続ける条件を守るための活動を展開しています。

本年度も地域組織歯科技工士連盟会長様をはじめ、評議員、地域組織連盟役員の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

共益には経済的利益と精神的満足があり、この具現化に必要な要望を必達させるには、日本歯科医師連盟、政党、議員の支援を得て、官庁（国家機関、地方公共団体）と合意に至ることが肝要であります。2026年2月8日に投開票が行われた衆議院選挙では「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の執行部は元より、地域組織歯科技工士連盟と深い関わりを持つ多くの方が議席を得た結果、衆参あわせて76名の組織にまで回復し、歯科技工士に追い風を吹かせてくれています。「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」は伊吹文明顧問（元衆議院議長）と京都府歯科技工士連盟の長く、深い関係性がきっかけで設立され、現在もなお、日本歯科技工士連盟は大きな存在として広く認知されています。

日本歯科技工士連盟は、「見える政治運動、実感できる成果」を方針として、「経済的利益」、「歯科技工士の社会的地位向上」、「歯科技工所の社会的位置づ

け」を目標にロビー活動を重ね、政府、自由民主党、中央省庁（1府12省庁）に要望しています。

物価高騰等は社会保険制度に経済基盤の多くを委ねる歯科技工士や歯科技工所にとり、生活や経営圧迫の要因となっており、診療報酬改定における医療費の十分な財源確保（経済的利益）を日本歯科医師連盟、日本歯科衛生士連盟と足並みを揃えて求めています。

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を財源とする物価高騰対策給付金の交付は、医療に分類される歯科技工所への地方自治体からの認識に変化をもたらし、歯科技工所の国民の健康に及ぼす社会的認識は高まっています。

歯科技工のトレーサビリティの確保は、歯科医療の安全、安心を担保する必須要件です。デジタル歯科技工の進展、施設の共同利用、リモートワーク、歯科技工所間連携等で委託過程ならびに作成過程が更に多様化かつ複雑化していく過程において、開設無届け、廃止無届けの法的順守の可視化や不正（委託、作成、請求）による患者への機能及び衛生上有害な歯科補てつ物等の提供を防止するための公的歯科技工所番号は、省令改正により2026年10月1日施行が決定していますが、この活用には制度的に道半ばであり、改善要望を絶やすわけにはいきません。

共益には政治力が必要です。歯科技工士問題は単なる業界問題に留まらず、国民医療のインフラ問題となり社会問題化しています。これには日本歯科技工士連盟と地域組織歯科技工士連盟が協力し、強い政治力により解決しなければなりません。日技連盟LINE公式アカウント、ホームページは情報展開と共有を実現し、見える連盟活動は一致団結の強力な推進力になります。これには組織率増強が必須条件であります。

結びに、本日の皆さまの慎重審議と本連盟への引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。

日本歯科技工士連盟 新執行部の顔ぶれ

（任期：2026 年 6 月 14 日の定時評議員会終結の時から 2028 年 6 月定時評議員会終結の時まで）



会 長

奥村 英世（愛知）



副会長

蓑輪 雅宏（北海道）



副会長

小川 博和（京都）



副会長

狩野 眞澄（東京）



理事長

時見 高志（大阪）



副理事長

野島 正美（埼玉）



副理事長

原田 昭博（神奈川）



副理事長

妹島 利行（東京）



常任理事

土肥 学（長崎）



常任理事

瀬谷 公子（茨城）



常任理事

檜垣 権一郎（香川）



常任理事

傳寶 弥里（神奈川）



理 事

大西 尚之（新潟）



理 事

前川 清和（大阪）



理 事

松井 哲也（広島）



理 事

河西 武嗣（神奈川）



監 事

三島 良之（熊本）



監 事

中村 守勝（神奈川）



活動報告動画の上映



挨拶する奥村会長



奥村候補へ当選証書授与